



# 監査設定の管理

## ONTAP 9

NetApp  
February 12, 2026

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap/nas-audit/manual-rotate-audit-event-logs-task.html> on February 12, 2026. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

監査設定の管理	1
監査イベントログを手動でローテーションして、特定のONTAP SVMイベントログを表示します	1
ONTAP SVMの監査を有効または無効にする	1
ONTAP監査設定に関する情報を表示する	2
監査設定を変更するためのONTAPコマンド	4
ONTAP SVMの監査設定を削除する	5
監査済みのONTAPクラスタを元に戻すことの影響を理解する	5
SMBのログオンおよびログオフ イベントや集約型アクセス ポリシーのステージング	
イベントの監査をサポートしていないバージョンのONTAPへのリバート	5

# 監査設定の管理

## 監査イベントログを手動でローテーションして、特定のONTAP SVMイベントログを表示します

監査イベントログを表示するには、ログをユーザーが読み取り可能な形式に変換する必要があります。ONTAPがログを自動的にローテーションする前に特定のストレージ仮想マシン (SVM) のイベントログを表示したい場合は、SVM上の監査イベントログを手動でローテーションできます。

### 手順

1. `vserver audit rotate-log` コマンドを使用して監査イベントログをローテーションします。

```
vserver audit rotate-log -vserver vs1
```

監査イベントログは、監査設定 ((XML、または `EVTX) で指定された形式で SVM 監査イベントログ ディレクトリに保存され、適切なアプリケーションを使用して表示できます。

## ONTAP SVMの監査を有効または無効にする

Storage Virtual Machine (SVM) での監査を有効または無効にすることができます。必要に応じて、監査を無効にすることで、ファイルおよびディレクトリの監査を一時的に停止できます。監査は、いつでも有効にすることができます (監査設定が存在する場合)。

### 開始する前に

SVMで監査を有効にするには、SVMの監査設定がすでに存在している必要があります。

#### ["監査設定の作成"](#)

### タスク概要

監査を無効にしても、監査設定は削除されません。

### 手順

1. 適切なコマンドを実行します。

監査を実行したい場合...	コマンドを入力してください...
有効	vserver audit enable -vserver vserver_name
無効	vserver audit disable -vserver vserver_name

2. 監査が目的の状態になっていることを確認します。

```
vserver audit show -vserver vserver_name
```

## 例

次の例は、SVM vs1で監査を有効にします。

```
cluster1::> vserver audit enable -vserver vs1

cluster1::> vserver audit show -vserver vs1

          Vserver: vs1
          Auditing state: true
          Log Destination Path: /audit_log
          Categories of Events to Audit: file-ops, cifs-logon-logoff
          Log Format: evtx
          Log File Size Limit: 100MB
          Log Rotation Schedule: Month: -
          Log Rotation Schedule: Day of Week: -
          Log Rotation Schedule: Day: -
          Log Rotation Schedule: Hour: -
          Log Rotation Schedule: Minute: -
          Rotation Schedules: -
          Log Files Rotation Limit: 10
```

次の例は、SVM vs1で監査を無効にします。

```
cluster1::> vserver audit disable -vserver vs1

          Vserver: vs1
          Auditing state: false
          Log Destination Path: /audit_log
          Categories of Events to Audit: file-ops, cifs-logon-logoff
          Log Format: evtx
          Log File Size Limit: 100MB
          Log Rotation Schedule: Month: -
          Log Rotation Schedule: Day of Week: -
          Log Rotation Schedule: Day: -
          Log Rotation Schedule: Hour: -
          Log Rotation Schedule: Minute: -
          Rotation Schedules: -
          Log Files Rotation Limit: 10
```

## ONTAP監査設定に関する情報を表示する

監査設定に関する情報を表示できます。この情報は、各SVMの設定が適切かどうかを判断するのに役立ちます。また、表示される情報から、監査設定が有効になっているかど

うかを確認することもできます。

## タスク概要

すべてのSVMの監査設定に関する詳細情報を表示できます。また、オプションパラメータを指定して出力に表示される情報をカスタマイズすることもできます。オプションパラメータをいずれも指定しない場合は、以下の情報が表示されます：

- ・監査設定が適用される SVM 名
- ・監査状態。`true` または `false` のいずれかになります

監査状態が `true` の場合、監査は有効です。監査状態が `false` の場合、監査は無効です。

- ・監査するイベントのカテゴリ
- ・監査ログの形式
- ・監査サブシステムが統合および変換された監査ログを保存するターゲット ディレクトリ

## 手順

1. `vserver audit show` コマンドを使用して監査構成に関する情報を表示します。

`vserver audit show` の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-audit-show.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-audit-show.html) ["ONTAPコマンド リファレンス" ^] をご覧ください。

## 例

次の例では、すべての SVM の監査設定の概要が表示されます：

```
cluster1::> vserver audit show

Vserver      State   Event Types Log Format Target Directory
-----  -----
vs1          false   file-ops    evtx      /audit_log
```

次の例では、すべての SVM のすべての監査設定情報をリスト形式で表示します：

```
cluster1::> vserver audit show -instance

          Vserver: vs1
          Auditing state: true
          Log Destination Path: /audit_log
          Categories of Events to Audit: file-ops
          Log Format: evtx
          Log File Size Limit: 100MB
          Log Rotation Schedule: Month: -
          Log Rotation Schedule: Day of Week: -
          Log Rotation Schedule: Day: -
          Log Rotation Schedule: Hour: -
          Log Rotation Schedule: Minute: -
          Rotation Schedules: -
          Log Files Rotation Limit: 0
```

## 監査設定を変更するためのONTAPコマンド

監査設定を変更する場合は、ログのデスティネーション パスおよび形式の変更、監査するイベントのカテゴリの変更、ログ ファイルの自動保存方法など、現在の設定をいつでも変更したり、保存するログ ファイルの最大数を指定したりできます。

状況	使用するコマンド
ログのディスティネーション パスを変更する	'vserver audit modify' と '-destination' パラメータ
監査するイベント カテゴリを変更する	'vserver audit modify' と '-events' パラメータ <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <span style="font-size: 2em; margin-right: 10px;"> ⓘ</span> <p>集約型アクセス ポリシーのステージング イベントを監査するには、ダイナミック アクセス制御 (DAC) のSMBサーバ オプションがStorage Virtual Machine (SVM) で有効になっている必要があります。</p> </div>
ログ形式を変更する	'vserver audit modify' と '-format' パラメータ
一時ログ ファイルのサイズに基づく自動保存を有効にする	'vserver audit modify' と '-rotate-size' パラメータ

定期的な自動保存を有効にする	vserver audit modify`と`-rotate-schedule-month`、`-rotate-schedule-dayofweek`、`-rotate-schedule-day`、`-rotate-schedule-hour`、および`-rotate-schedule-minute`パラメータ
保存可能な最大ログ ファイル数を指定する	`vserver audit modify`と`-rotate-limit`パラメータ

## ONTAP SVMの監査設定を削除する

Storage Virtual Machine (SVM) でのファイルおよびディレクトリイベントの監査が必要なくなり、SVMで監査設定を維持する必要がなくなった場合は、監査設定を削除できます。

### 手順

1. 監査構成を無効にします：

```
vserver audit disable -vserver vserver_name
vserver audit disable -vserver vs1
```

2. 監査構成を削除します：

```
vserver audit delete -vserver vserver_name
vserver audit delete -vserver vs1
```

## 監査済みのONTAPクラスタを元に戻すことの影響を理解する

クラスタのリバートを予定している場合は、監査が有効になっているStorage Virtual Machine (SVM) がクラスタ内にあるときにONTAPが実行するリバート プロセスを把握しておく必要があります。リバートを行う前に特定の操作を実行する必要があります。

## SMBのログオンおよびログオフ イベントや集約型アクセス ポリシーのステージング イベントの監査をサポートしていないバージョンのONTAPへのリバート

SMBのログオンおよびログオフ イベントや集約型アクセス ポリシーのステージング イベントのサポートは、clustered Data ONTAP 8.3から開始されています。これらのイベント タイプをサポートしていないバージョンのONTAPへのリバートを予定していて、これらのイベント タイプを監視する監査が設定されている場合は、リバートを行う前に、監査が有効になっているSVMの監査設定を変更する必要があります。設定は、ファイル操作イベントのみが監査されるように変更する必要があります。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。